

ファイル番号	セリフ	備考
ONNAKISHI001	くっ、殺せ！	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI002	貴様っ... この下衆がっ！ その薄汚い手で姫様に触れるなっ！	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI003	身体はいくら弄ばれようともっ... 我が心まで思い通りにすることはできぬぞ！	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI004	刀折れ、矢は尽きようとも、我が心の剣(つるぎ)、折れはせん！	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI005	戦場(いくさば)で果てることこそ騎士の誉れ！ 我と思わんものは、どこからでもかかってくるがいい！	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI006	これより後(のち)は、我が忠義、貴殿に捧げることを誓おう！	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI007	ぐっ... ひ、卑怯なっ...！	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI008	この使命、一命に代えても果たして見せましょう！	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI009	ば、馬鹿なっ！ 一国において並ぶものなしと称えられた私の剣技が、通用しない、だと..！？	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI010	貴殿の見事な戦いぶり、しかと見届けさせてもらった。	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI011	剣には剣をもって応えるのが戦場の流儀。このクロウ・セプテントリオースが、全身全霊を尽くしてお相手しよう！	女騎士が言いそうなセリフ
ONNAKISHI012	よく食べて、よく鍛え、よく寝てよく食べる.....それが出来れば、君もきっと騎士になれる。私が保証しよう。	懐いてくる子供を諭すような感じで
ONNAKISHI013	いずれ私も剣を置く時がくる。その時に民を守れるのは君のような若者たちなんだ...頼んだぞ。この国の未来を。	懐いてくる子供を諭すような感じで
ONNAKISHI014	なに？ 騎士としてではなく、女性としてあこがれていただと..？ ばっ、馬鹿なことを言うなっ！	口説かれた時の反応
ONNAKISHI015	我が身は、騎士として戦働きをするため、我が主君に捧げたのだ！ 女らしさなどどうに捨てた！	口説かれた時の反応
ONNAKISHI016	こんな武骨者に、いまさら女としての魅力などあるわけがないだろう。	口説かれた時の反応
ONNAKISHI017	ああ、これか？ 今日のダンジョン探索で発見した戦利品を整理していたんだが、	武器フェチ
ONNAKISHI018	金貨や宝石などはどうでもいい！ 見ろ、この剣を！ 美しいとは思わないか？	武器フェチ
ONNAKISHI019	(うっとりしながら喋る感じで)磨き込まれた刀身はきらびやかに輝きつつも、いかなる者も断ち切らんとする冷徹な光をも放っている... さぞかし名のある刀匠の手によるものだろうな..	武器フェチ
ONNAKISHI020	殿(しんがり)は私が引き受ける！ 貴殿は早く仲間の元へ！	シリアスなシーン
ONNAKISHI021	何をぐずぐずしている！？ 早く行け！ このままでは共倒れだぞっ！	シリアスなシーン
ONNAKISHI022	私は大丈夫だ、後で必ず追いつく.. だから行けっ！ 振り返らずまっすぐ走れ！ いいなっ！	シリアスなシーン
ONNAKISHI023	ふふっ、仲間か... 私には不要なものだと思っていた。国を、民を守れるのは私一人。誰かに頼ることなどできぬと。	シリアスなシーン
ONNAKISHI024	だが、志を同じくする友がいるということは、こんなにも暖かく、心安らぐものだったのだな。	シリアスなシーン
ONNAKISHI025	私はどうやらここまでのようだが.. 貴殿は必ず、生きて、生きて、生き抜いてくれ。私からの最後の頼みだ..！	シリアスなシーン
ONNAKISHI026	やあっ！	勇ましい掛け声
ONNAKISHI027	てやっ！	勇ましい掛け声
ONNAKISHI028	そこっ！	勇ましい掛け声

ONNAKISHI029	甘いっ！	勇ましい掛け声
ONNAKISHI030	遅いっ！	勇ましい掛け声
ONNAKISHI031	もらったっ！	勇ましい掛け声
ONNAKISHI032	ぐうっ！ なんの、これしきのことっ..！	勇ましい掛け声
ONNAKISHI033	でやあああ——っ！！	勇ましい掛け声
ONNAKISHI034	ぐあっ！	ダメージボイス
ONNAKISHI035	うぐっ！！ がはっ...げほっ、げほっげほっ！！(腹パンされて咳込むイメージ)	ダメージボイス
ONNAKISHI036	ぐっ...あっ...あああああっ...！！	ダメージボイス
ONNAKISHI037	きゃあああ——っ！！	ダメージボイス
ONNAKISHI038	ぐうっ...！ は、離せ！	エッチな目で見られた時の反応(敵)
ONNAKISHI039	確かに敗れはしたが... ただ一騎を相手に数を頼みに襲い掛かり、あまつさえ高潔なる騎士の体の下卑た欲望を向けんとするとは... この見下げ果てた下衆どもめっ！	エッチな目で見られた時の反応(敵)
ONNAKISHI040	父母(ちちはは)より受け継いだ大切なこの身体を、こんな下衆どもに好き勝手に弄ばれるなど、何たる屈辱っ...！	エッチな目で見られた時の反応(敵)
ONNAKISHI041	父君、母君... 申し訳ございませぬ...！	エッチされてる時の反応(敵)
ONNAKISHI042	今は、気の済むまで鬨るがいい... だが、心しておくことだ。この身体と心の痛み、いずれ貴様自身に何倍にもして味わわせてくれるぞっ！	エッチされてる時の反応(敵)
ONNAKISHI043	ち、違うっ！ これはっ、生理現象だ！ 貴様らが弄るから....か、感じてなどいないっ！	エッチされてる時の反応(敵)
ONNAKISHI044	さっきも言っただろう！ いくら体を好き勝手にされようとも、心までは渡さぬと。ンオッほッッ！？ ま、待て、そこは弱いっ... おッほオンッ♥	エッチされてる時の反応(敵)
ONNAKISHI045	なっ！？ 中に出すだと.. や、やめろ！ 孕んでしまう！ 彼以外の子種で女になるなど..それだけは許してくれっ...！	エッチされてる時の反応(敵)
ONNAKISHI046	な、なんだ？ そんなにまじまじと見つめて。いくら殿方とは言え、私のような女を捨てた武骨者の肌など見ても嫌しくないだろう...	エッチな目で見られた時の反応(味方)
ONNAKISHI047	なっ、う、美しいだと！？ そんな見え透いたお世辞など言われても嬉しくない！ さ、さっさと部屋から出て行けー！！	エッチな目で見られた時の反応(味方)
ONNAKISHI048	ほ、本気で言ってるのか... わ、わかったわかった！ 見るだけだぞ！約束だからな！？ 私の裸を見て、その自慰をするだけなら、許してやるから！	エッチな目で見られた時の反応(味方)
ONNAKISHI049	なっ、何を言っている！ あなたは女性だろう！？ いや、まあ、確かに「女を捨てた」とは言ったが、べ、別に、「女性が好きになった」という意味では、	エッチな目で見られた時の反応(百合)
ONNAKISHI050	い、いや...自慰行為の経験がないというわけではないが..！ こんなところも気持ちいいなんて、し、知らなかったっ...	エッチな目で見られた時の反応(百合)
ONNAKISHI051	も、もうやめてくれ... このままだと戻れなくなってしまう.. 女の人にキモチよくされるのにハマってしまうっ...♥♥♥	エッチな目で見られた時の反応(百合)
ONNAKISHI052	こ、ここはどこだ...！？ 景色も街並みも全く見たことがない.. なに？ 貴殿が私をここに呼んだと..？	現代編

ONNAKISHI053	私がいたのとは全く違う世界ということか... あ、いや、気にしないでいいんだ。元の世界では国も平和になって、私が剣を取る必要もなくなっていたしな。 今後は、召喚主たる貴方をマスターとしてお仕えしよう。	現代編
ONNAKISHI054	なに？ 今日私は私と出かけた...と？ マスターの命であればもちろん私に異存はないが、それで、一体どのような用事なのだ？	現代編
ONNAKISHI055	服屋か... 確かに、だいぶ文化が違うようだし、元の服装でいれば奇異に見られることもあろう。 私一人のことであればさほど問題はないが、仕える主の恥となる訳にはゆかぬからな。	現代編
ONNAKISHI056	た、確かにああは言ったが、この服はさすがに... 可憐な少女が着るような服ではないのか？ 女を磨くことを捨て、武の道を目指した私に似合うような服では..！	現代編
ONNAKISHI057	こっ、これが私...か?? ほわあ〜... これは確かにカワイイ... はっ！ お、おい！ こっちを見ながら何をニヤニヤしてるんだ！	現代編
ONNAKISHI058	私の世界にも演劇や説話などの娯楽はあったが.. このげーむ？やあにめ？というものは素晴らしいな。こんなものは見たことがなかったぞ！	現代編
ONNAKISHI059	フッ、この私に挑もうとは愚かな。 我が主(あるじ)に害をなそうとした罪、貴様の魂をもって贖(あがな)ってもらおう！	現代の娯楽にすっかり影響される
ONNAKISHI060	我が腕(かいな)より生ぜし漆黒の刃よ、主に仇なす者どもを虚無へと還せッ！ 顕現せよ<<幽かなる斧槍の黒刃>>(ハルベルト・オブ・シュバルツガイスト)ッ！！	現代の娯楽にすっかり影響される
ONNAKISHI061	ひよわあッ!?!? ま、マスター、今を見ていたのか!? ご、後生だッ、今のは貴殿の心の中だけにしまっておいてくれッ...！	現代の娯楽にすっかり影響される
ONNAKISHI062	この世界ではあまり戦いというものがないからな。 それ以外にマスターの役に立てることがないか、自分なりにいろいろと考えてみたんだ。	日常ラブコメ編
ONNAKISHI063	ど、どうだ？ ここに来るまで、料理などしたこともなかったが、れしぴぼん？というものを見て、何とか作ってみたんだ。	日常ラブコメ編
ONNAKISHI064	味は微妙...? そっ、そうか... マスターにそのような失敗作を口にさせてしまうとは、従者として一生の不覚ッ！ ここは我が一命をもって償いをッ...！	日常ラブコメ編
ONNAKISHI065	責めてるわけじゃない？ し、しかしだな、貴殿に仕える者としては、えっ？ 一生懸命尽くしてくれて惚れそう...? なっ、なななな何をッ...!?!?	日常ラブコメ編
ONNAKISHI066	は、はいッ！ 拝命いたしましたッ！ 必ずや、マスターに喜んでいただける手料理を振る舞えるよう精進いたす所存でござりまひゅッ！ だから一生お傍に仕えさせてくらひゃいッ！	日常ラブコメ編
ONNAKISHI067	な、なあマスター？ 昨日はその、気が動転していてだな、真剣に言っているようには聞こえなかったかもしれないが... 私の気持ちに嘘はないんだぞ...?	日常ラブコメ編
ONNAKISHI068	ああ、その通りだ。 貴方さえよければ、これからもずっと、傍にさせてくれ。 私の大切なご主人様..♥	日常ラブコメ編